広域葬斎センター実施設計概要

１、面積及び構造概要

○敷地面積	6,656.27㎡	
○床面積及び構造	・本体棟	
	鉄筋コンクリート造	
	１階	1,947.07㎡
	２階	452.12㎡
	塔屋	7.28㎡
	・車寄せ	
	鉄骨造	
	１階	54.05㎡
	延床面積	2,460.52㎡
	建築面積	2,454.79㎡
○耐火構造	耐火建築物	

２、仕上げ概要

○外部　外壁：耐久性の優れたせっ器質タイルを使用し、メンテナンスコストを削減
建具：複層ガラスの採用により省エネに配慮

○内部仕上げ及び各室計画
- 告別室、収骨室の設置でプライバシーへの配慮と同時での会葬が可能
- ３０人程度で使用可能な待合室を５室計画
- 授乳室やおむつ替え室などの設置で子育てを支援
- 天井材に吸音性能の優れた吸音板を使用し静謐空間に配慮

○外構　駐車場：乗用車４０台、送迎バス８台
おもいやり駐車場２台
融雪設備：駐車場及び車路は消雪パイプ、車寄せにはロードヒーティングを設置

３、設備概要

○空調設備
ガスヒートポンプ方式を用いた集中制御により省エネ、省力化に配慮

○照明設備
ＬＥＤ器具を採用し省エネに配慮

○見守り設備
適所に見守りカメラを設置

○火葬炉設備

炉数	５基
燃料	都市ガスの採用により温室効果ガスを抑制
火葬件数	１日最大１４件
集じん方式	環境に配慮した高効率集じん機能により９９％以上の灰を捕集
運転管理	中央集中管理方式により省力化

４、災害対応

○都市ガス停止時
給油により連続運転が出来る灯油燃料の非常用バーナー（２台）により約８０分の火葬能力を確保

○停電時
火葬炉２炉の運転可能な電力を非常用発電機（１日８時間で３日運転）により確保

○水害時
１階床面の高さを周辺道路より約５０センチ高く設計
周囲の農地面より約１．５メートル高くなる。

○地震時
震度６～７を想定
構造体に大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保を図る。